

# 現場効率化策学ぶ

## 道が専門技術者養成講座

十勝支庁で

「帯広」道が主催する専門技術者養成講座「建設現場の効率化に向けた新たな挑戦」が5日、十勝支庁で開催され、支庁や土現の担当者や管内企業などから約140人が参加、厳しい時代を生き抜くための現場効率化策を学んだ。

設計発注における発注者と受注者の責務について講義を行った北海道建設技術センターの平川幸三技術顧問は「標準請負契約は受注者自らの利益を確保でき

る一つの権利。設計図書の見直しは発注者側に伝えることなど、現場レベルでも約款をしっかりと理解し迅速な対応を」と呼び掛けた。

続いてコスト管理能力の向上に向けた取り組みについて講義した地域経済研究所の阿座上洋吉理事長は「工事費拡大時代を終え、新段階に突入した建設業界で生き残るため、今後はCM（建設コストコントロールマネジメントシステム）の導入による原価管理の徹底が必要であり、技術者と事務管理者の間で共通認識を持たなくてはいけない」と説明した。



この後、美  
現場効率化の  
方を学ぼう  
と、参加者は  
真剣な表情で  
講義を受けた

際に現場での効率化事例と長が自社の取り組みを、実  
して、官坂建設工業の阿部  
際の現場写真を交えて発表  
忍土木部第2工事グループ  
した。